

《修二会お松明等の拝観について》

3月12日を除く1～14日

- お松明は基本的にご覧いただけますが、二月堂下芝生や広場の人数が一定以上になれば、以降お越しの方は第2拝観所へ誘導します。第2拝観所も同様になれば、以降はお松明をご覧いただくことが出来ません。
- 二月堂下芝生や広場の収容人数は安全対策の観点から人数を算定し、当日の天候や現地の状況等を踏まえて決定します。
- 予約等事前の確保は出来ません。
- 局(つぼね)での聴聞は可能ですが、マスクの着用を徹底し私語を慎んでください。
- 受け継がれてきた建物や周囲の歴史ある景観の構造上、拝観・聴聞の場所には限りがございます。各自が利他の精神で譲り合っていただくようお願いいたします。ご参拝においては収容人数の観点から二月堂へは入堂できないことを前提にご計画ください。

3月12日

- 12日は二月堂の信者組織である各講社の参詣日であり、これが行事の伝統です。ご参拝においては講社ごとに局の割り振りも定まっており、聴聞に際し一般参拝の方は局へ入れる余地がございません。ご了承ください。
- お松明拝観に際しては、コロナ禍以前と同様に、エリアを①お松明後に局で聴聞される講社等のリボン所持者のエリアと②広場での松明拝観者のエリアに区切った条件下でお松明をご覧いただけますが、12日の特殊性をご理解ください。
- ②広場でのお松明拝観の方式については、後日別紙にて詳細をお伝えいたしますが、本年は多数のご参拝が見込まれます。おみ足や体力に不安のある方はもとより、普段壮健の方でも不自由や危険性が多いため、ご参拝は極力お控えください。

《その他の場面について》

基本的に練行衆が勤める日々の法要は全て例年通り行います。また、2月末日の大中臣祓や、日々のお堂や食堂への出入り、童子らの松明作り、3月12日のお水取りなど、練行衆や参籠衆と拝観者の距離が近い場面においては、例年と異なる形でのご協力をお願いすることがあります。

二月堂はいにしえよりご本尊との結縁のため無数の方が連綿と祈りを捧げてこられた場です。行法を取り巻く雰囲気が増えれば、現在の形で伝統を次代へ繋いでいくことも難しくなってまいります。『法句経』に「七仏通戒偈」として、「諸悪莫作(しよあくまくさ)衆善奉行(しゅぜんぶぎょう)自浄其意(じじょうごい)是諸仏教(ぜしよぶつきょう)」の教えがあります。「あらゆる悪を為さず、善を保ち、自分の心を清めること、これが諸仏の教えである」という意味です。

時と場所に応じたルールや守っていただきたいお願いがあります。心を整え自分勝手ができないように臨みましょう。他を慮ることがすべての調和につながります。どのような形であれ、行法の周囲に身を置かれるにあたり、少し心の準備をしてご参詣いただければ幸いです。

今後も諸々の状況により、告知させていただいた内容に追加や変更が生じる可能性があります。その場合は東大寺の公式サイトで告知いたしますので、適宜サイトをご確認ください。ご理解とご協力をお願い申し上げます。